

第 2 富士電力株式會社施行、

請負： 間組（貯水堰堤以下寸又川線壓力隧道）、鹿島組（大間川線隧道水槽發電所附近工事）、

酒井鐵工所（水壓鐵管、隧道內銲接管ゲート類）

第 14 回國際都市計畫會議に就て

國際都市計畫聯盟 (International Federation for Housing and Town Planning) に於ては本年 (1935) 7 月 16 日～20 日を期して第 14 回國際都市計畫會議 (14th International Housing & Town Planning Congress) を倫敦に開催する事に決した旨の發表があつた。同聯盟では第 1 回會議を巴里に開催して以來、引續き倫敦 (1914)、ブルツセル (1919)、倫敦 (1920, 1922)、巴里 (1922)、ゴートンブルグ (1923)、アムステルダム (1924)、紐育 (1925)、維也 (1926)、巴里 (1928)、羅馬 (1929)、伯林 (1931) に各會議を開き都市計畫に關する重要問題を協議し斯界に貢獻して來たが、之に續いて第 14 回會議は 3 度倫敦に於て舉行される事となつた。同會議では第 1、住宅改良計畫、第 2、積極的都市計畫、第 3、田園計畫の開発及び田園地の保存に就て協議される筈であるが、第 2 議題の積極的計畫に於ては、從來の多くの都市計畫が試験的のものであつて實現性に乏しい嫌のあつたのに鑑み、之を一層實現的なものたらしめ、更に右計畫を確實に實施し得る權能を計畫當局に與へる必要はないかとの現時の一般的要求を促へてをり、又 1924 年のアムステルダム會議に於て決議された地方計畫への方針を一層效果的ならしむ爲に、所謂分集の計畫を實際的ならしむる爲に各當局は如何なる處置を取るべきが問題の中心とされてをる。更に航空路に關する問題が新たに議題の一部として加へられてをる事は現今の緊必の要求を示したのものとして之等に關して嚙花々しい論議が闘はされる事であらう。その他第 1 議題、第 3 議題何れも現時の重要問題であつて、既に各國名士多數會議に論文を發表される事となつてをる由である。

會議は Wales 殿下を總裁に戴き、英國政府、倫敦市、倫敦府其他主要都市及び都市計畫關係協會の後援の下に倫敦 Regent 公園附近の Portland Place に開かれる。會議中は英國政府及び倫敦市長の饗宴あり、倫敦市内及び Letchworth 及び Welwyn 兩田園都市の視察あり、更に會議終了後は Horrogate, York, Leeds, Manchester, Bolton, Liverpool, 及び Birmingham 各都市視察旅行が行はれる豫定である。

主催者は我國よりも學界及び實際界より多數代表者の參加あらん事を聯盟の名を以て本學會宛招待して來てをる。